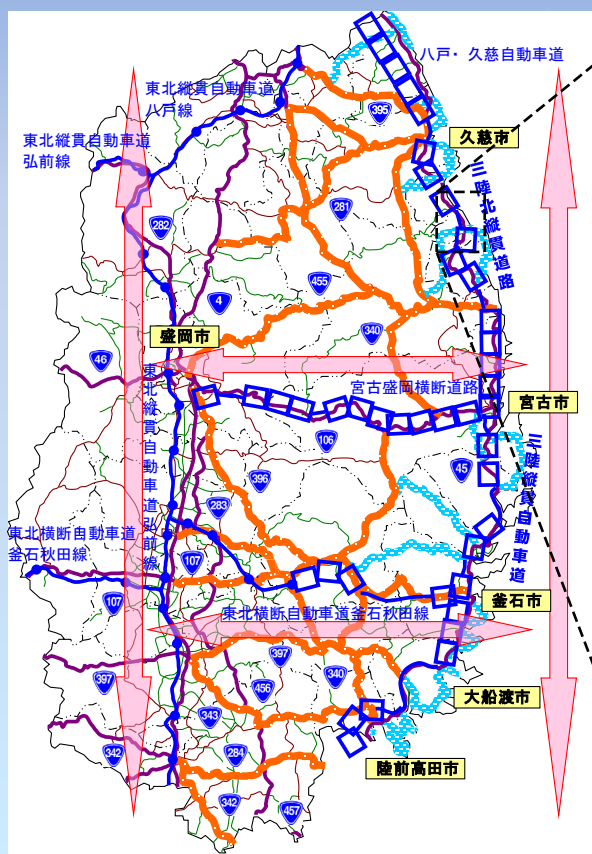


平成 25 年 10 月 13 日（日） 三陸沿岸道路「普代道路」開通！
～県内の三陸沿岸道路としては東日本大震災津波発災後初めての開通～

道路建設課
県北広域振興局土木部

普代道路は、昭和 63 年度に事業化され、その後、地域高規格道路「三陸北縦貫道路」の一部として国により整備が進められ、東日本大震災津波以降は、被災した地域の復興を牽引する「三陸沿岸道路（復興道路）」の一部となりました。

この度の開通は当地域の防災力の強化や安全性の向上、救急医療施設への搬送時間の短縮、沿岸地域における南北の繋がりの強化、三陸の水産業の発展や観光の振興など、様々な分野に大きな効果をもたらすものと期待されます。



国では、三陸沿岸道路をはじめとする復興道路の整備について、復興のリーディングプロジェクトとして、かつてないスピードで推進しています。

開通式では、達増知事が『岩手県東日本大震災津波復興計画』の目指す姿『いのちを守り、海と大地と共に生きる ふるさと岩手・三陸の創造』の実現に向けた大きな前進となるもので、普代道路を始めとする復興道路は、復興を大きな力で牽引していくものであり、なくてはならないものです』と挨拶しました。



三陸沿岸道路「普代道路」開通式 スナッフショット



▲ 開通式を盛り上げた
「ふだいまつり」のお囃子の様子



▲ 岩手県指定無形民俗文化財「鶴鳥神楽」
が披露され、舞台を清める意味の清祓
(きよはらい) が行われました



▲ 普代道路の開通に思いを込めた地域の方々の
ビデオレターが紹介されました（画面は普代
村出身の東北楽天イーグルス銀次選手）



▲ 普代道路の事業概要を説明する
三陸国道事務所の工藤所長



▲ 開通を祝して行われたパレードの様子



▲ 普代大橋から久慈方面を望む